

6-3 流域の地下水の分布（岩津～池田の間）

（１）地形地質と地層の形成

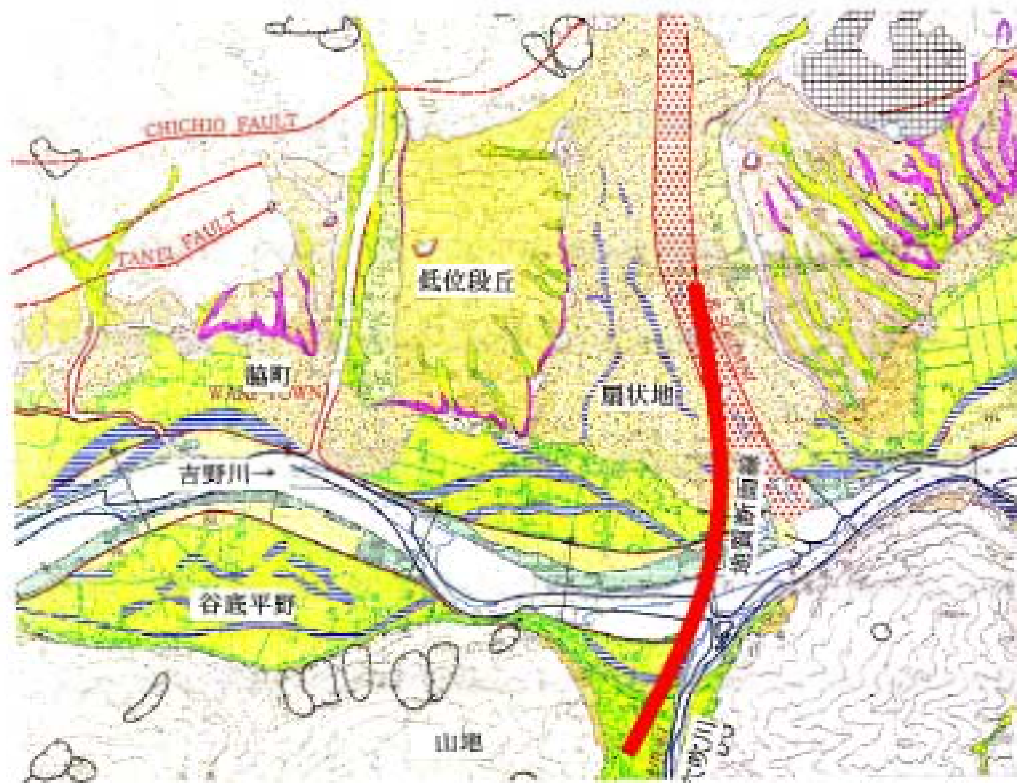
吉野川中流域は、地表より砂礫層が分布します。この地層は、地下水位より下では、透水性の高い地層で地下水を豊富に持っています。

《解説》

次のページに穴吹町付近の、地形分類図と地質断面図を示しました。

吉野川中流域で特徴的なのは、左岸側は扇状地及び低位段丘が発達し、吉野川は南に押しやられるように右岸山裾を洗うように流れていることがあげられます。この地形的な特徴を反映して、吉野川沿川の街は左岸側では扇状地などの地形の高い所に発達しています。一方、右岸側は半田町，貞光町，穴吹町，山川町に見られるように、吉野川と支川の合流点から支川側に入った支川の河岸段丘に街が発達しています。

中流域に分布する地質は、地表より砂礫が大勢をしめ、その下位には山の基盤をなす岩が分布しています。吉野川に沿った谷での砂礫層の層厚は穴吹，三加茂町付近では30～40mが確認されています。



出典「吉野川流域水害地形分類図」 縮尺 1:50,000

大改推定地質断面図（河口から42 km 付近）

縮尺 縦 1:800
横 1:80,000

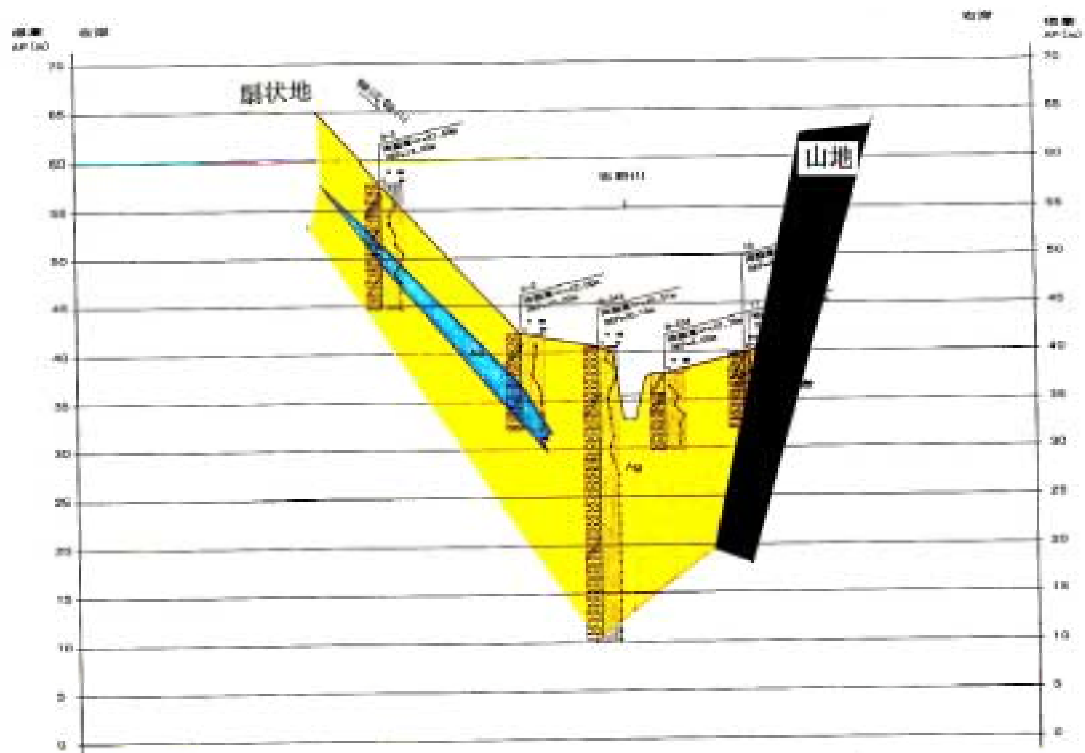


図-6.3.1 中流域の代表地形と地質断面図